

Subaru



男声合唱団 ニュース№698 19. 7. 30

多彩な合唱交流！昂「市内南部合発」で「日々草」

「朝露」を披露、LIC 大阪・京都祭典へ

1月28日



□7月28日(日)13:00より鶴見区民センター小ホールで「2019年大阪市内南部地域合唱発表会」が開催されました。今年は13団体の参加のなか、昂は「日々草」と「朝露」(ハングル語のみ)の2曲を合唱し、見事な男声合唱のハーモニーを会場に響かせました。講評者の満票に近い推薦を得ることができ、9月8日(日)に予定されている「大阪のうたごえ合唱発表会」(LICはびきの)への推薦団体に選ばれました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は指揮者・ピアニストを含め全36名でした。

□また本並先生指揮の「関西紫金草合唱団」は「平和の子守歌」「街の灯」を、「ロシア民謡合唱団コスモス」は「うたごえ大地にあふれ」「ワルシャワのポロネーズ」を歌いました。また「パレアナ(千秋&二三)」が千秋さん独唱・森二三さんピアノ伴奏で、組曲「満蒙の地『方正』のうた」から「残留妻と子供たち・お母さん会いたいです」と「日本人公墓」の2曲を披露されました。また昂メンバーが参加している「大阪合唱団明日歌」が「おりもの」「喜びも悲しみも幾年月」を、「市民合唱団グリーンコーラス」が「うたって愛して」「町」を合唱しました。

□合唱発表会入選団体

シード2団体(昨年度日本のうたごえ入選団体) 2団体

衛都連合唱団・新日本婦人の会中央支部うたごえサークルルンルン

大阪のうたごえ合唱発表会推薦団体(出演順) 5団体

ウイングス

男声合唱団「昂」

大阪府庁うたごえ合唱団

関西紫金草合唱団

グリーン・コーラス

交流の部推薦団体（出演順） 3団体

大阪府倫理法人会

なのはな

ロシア民謡合唱団コスモス

市内南部合唱発表会 審査員講評 2019.7.28		合唱団名 男声合唱団昴	指揮：本並美德 ピアノ：森二三
講評者	「日々草」	「朝露」	全体的として
A	よく意志が統一された演奏です。テナーのオブリの響きがすてきです。	男声らしいたくましさ、力強さが生かされたうたです。ラストのハーモニーもやさしくて素敵です。	
B	ハーモニーもきれいにそろっており、よく練習されていることがうかがわれます。 高音がぶら下がっているような部分もあったので、支えていただけるともっと素敵になると思います。	よくまとまっており、安心して聴かせていただきました。	男声合唱は重厚感があつてすばらしいです。若い人が多く歌手になるとよいですね。
C	優しい男声の響きの合唱で心地よかったです。最初の「きょうー」の”K”が少し足りなかつたり、細かい部分で、高と低のタイミングがずれたり・・・	こちらの方になると、Bの響きがよく出て、さらに心地よく聞こえました。	
D	出だし印象的。分厚いのに抑えた男性の声に、内容が伝わってくる。「あいしたり・・」を大事に歌っているのがステキです。	テナーの声に聞きほれ、全体の声にまた・・伝えたい思いがのってきてお見事！	人数にまず圧倒されます。団としてよくまとまった演奏、すばらしい男声合唱をありがとう。
E	ハミングが美しく聴きほれました。 真面目すぎる？	おおぜいの声がひとつになり、すばらしかったです。	
F	大満足。	大満足	男性ばかりで、しかもオジサンだけで（笑）、ここまでやさしさを出せるのは大阪では昴だけではないでしょうか。2曲とも歌の出だしが力行なのでむつかしいですよね・・ 男性ばかりで見た目の華やかさはゼロですが、歌声に花があ

			ので、結婚式で歌えば全員泣きますね。
G	力強い出だし。最後のまとめ方申し分なしですが、最後もっとPPで終わったらもっとすてきになったと思うのですがいかがでしょうか？	歌詞の意味がわからくてすみません。伝わるものは感じました。ほんとにすてきですね。	分厚いハーモニーさすがです。
H	男性のやさしい歌声がとっても気持ちよいです。歌詞もよく聞こえています。	抑えた心情が響いてきます。	とってもすてきな歌声だと思います。
I	情感豊か。きばらない発声が良い。ハモリ感深い。美しいです。	きれいなユニゾンからハモリへ。広がって美しい。歌詞の意味がわからなくて残念。キレイなのに。最後の”Uh—“まで美しい。	さすがの人数！
J	厚みのあるハーモニーがすばらしい。	強弱のつけ方がとても上手であった。	大多数の男声コーラスの魅力を感じました。
K	横の息がよく合っている。曲の感じもよく出ていると思います。	すばらしい歌声でした。よく練習されていることがよくわかります。	男声合唱スバラシイですね。

## 「伝え継ぐこと 使命」

糸満・小学6年 山内玲奈さん



(投稿) BR・西村さんからいただきました。

2019年6月23日「沖縄全戦没者追悼式」で、山内玲奈さん(糸満市・小学6年生)が自作の詩「本当の幸せ」を暗唱しました。  
一度声を出して朗読することをお勧めします。

追悼式で「本当の幸せ」と題した自作の詩を読んだのは、沖縄県糸満市立兼城小6年の山内玲奈さん(11)。手元の原稿を一度も見ずに暗唱し「練習の成果が出せた」とホッとした表情を見せた。

### 「本当の幸せ」(平和の詩)

青くきれいな海／緑あふれる大地／青く澄みわたる空しか知らない私／海や大地や空が七四年前／何を見て／何を聞き／何を思ったのか／知らない世代が増えて／いる／体験したことではなくとも／戦争の色を見たのだろうか／爆弾が何發も打ちこまれ／ほのとで包まれた町／そんな沖縄を見たのではないだろうか  
緑あふれる大地／この大地は／どんな縁を聞いたのだろうか／けたましい爆音／泣き叫ぶ幼子／兵士の声や銃声が入り乱れた戦場／そんな沖縄を聞いたのだろうか  
青く澄みわたる空／この空は／どんなことを思ったのだろうか／緑が消え町が消え希望の光を失った島／体が震え心も震えた／いくつもの尊い命が奪われたことを知り／そんな沖縄に涙したのだろうか  
平成時代／私はこの世に生まれた／青い時代／明日への希望を願う新しい時代が始まった／この幸せをいつまでもお金持になることや／有名になることが／幸せではない／家族と友達と笑い合える毎日こそが／本当の幸せだ／未来に夢を持つことこそが／最高の幸せだ／「命どう宝」／生きているから笑い合える／生きているから未来がある  
令和時代／明日への希望を願う新しい時代が始まった／この幸せをいつまでも